

補助事業番号 21-138

補助事業名 平成 21 年度 R T (ロボットテクノロジー) マッチングプラザ支援補助事業

補助事業者名 社団法人 日本ロボット工業会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

RT ベンチャー企業、大学、投資家等を対象とした平成 21 年度 RT (ロボットテクノロジー) マッチングプラザ支援補助事業を開催し、大学等の RT シーズの技術移転、RT ベンチャー企業への投資等を促進するマッチング支援事業を 2009 年秋、東京ビッグサイトで開催の「2009 国際ロボット展」において実施し、広く啓蒙を図ることで次世代ロボットの市場創生の加速化を促し、機械工業の振興に寄与する。

### (2) 具体的な実施・成果

#### 1) 実施内容

- ①委員会を開催し、事業大綱方針とともに、出展募集案内(案)について検討を行った。
- ②委員会決定に基づき、RT (ロボットテクノロジー) マッチングプラザ支援補助事業(RT 交流プラザ)のための出品案内を大学、公設研究機関に対して広く配布・募集を行った。
- ③出展機関を確定するとともに、展示・実演の方法について検討を行った。
- ④出展者説明会を開催し、搬入、搬出、実演ステージでのスケジューリング、無線調整等について説明を行った。
- ⑤東京国際展示場において RT (ロボットテクノロジー) マッチングプラザ支援補助事業を開催した。

#### 2) 成 果

今回の RT (ロボットテクノロジー) マッチングプラザ支援補助事業には、21 の大学研究室、研究機関等から出展があり、予定小間数を 3 小間超過するほどの盛会裡であった。

また、国際ロボット展への来場者は、急激な経済環境の悪化により、景気低迷が著しいにもかかわらず、2007 年開催の国際ロボット展と同様の 10 万人以上が来場した。このため本展示ブース内や実演コーナーにも来場者が詰めかけ、熱心に見聞き入っていたことで、当初の目的である次世代ロボットの RT シーズを広く啓蒙することができた。

このことから、大学等の RT シーズの企業への技術移転及び企業とのマッチン

グが広く図られ、いますぐに目に見えるような成果として現れて来てはいないが、今後において次世代ロボットの市場創生を促すことに寄与することが出来た。

2. 機械工業において予想される事業実施効果

R T交流プラザにおいて出展機関の技術シーズを公開したことで、今後、産学の技術開発の連携や技術移転、共同開発などが期待され、次世代ロボットの市場創生を促すことができる。

3. 本事業により作成した印刷物（コンピュータ・ソフトを含む）

・ハンディガイドブック 5,000部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：社団法人<sup>しゃだんほうじん</sup> 日本<sup>にほん</sup>ロボット工業会<sup>こうぎょうかい</sup>

住 所：〒105-0011

東京都港区芝公園三丁目5番8号

代表者：会長<sup>としまこうじ</sup> 利島康司

担当部署：総務部

担当者名：矢内重章<sup>やないしげあき</sup>

電話番号：03-3434-2919

FAX : 03-3578-1404

E-mail : [yanai@jara.jp](mailto:yanai@jara.jp)

URL : <http://www.jara.jp/>